

2017年11月29日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

## 「児童養護施設つつじが丘学園」に社内表彰賞金 計1万ドルを寄付

ジブラルタ生命保険株式会社(本社 東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO 山内 一洋)は、親会社であるプルデンシャル・ファイナンシャル(本社 米国ニュージャージー州ニューアーク)が創設した「坂口 陽史(さかぐち きよふみ)ゴールデン・ハート・メモリアル・アワード\*1」の2017年度受賞者に飯坂 実香子(いいさか みかこ)エグゼクティブ・ライフプラン・コンサルタント(松本支社 諏訪湖第一営業所所属)が選定されたことを受け、同賞の賞金1万ドル(※)を、飯坂が寄付先として希望した「社会福祉法人つるみね福祉会 児童養護施設つつじが丘学園\*2」へ贈呈しました。

11月27日(月)に行われた児童養護施設つつじが丘学園での贈呈式では、飯坂から「これまで他県の養護施設等でボランティアとして関わる機会があり、子ども達が成長し自立していく姿を見て、自身も多くを学ばせてもらった。さらに身近な子ども達をサポートしたいという想いから、今回つつじが丘学園様へ寄付させていただく事になった。今後も地域への貢献を続け、子ども達の成長をサポートできれば嬉しい。」とのメッセージとともに寄付目録を贈呈しました。

また、同園の川瀬 勝敏(かわせ かつとし)園長からは、「子ども達に関わる学校や医療、福祉など地域を代表して御礼申し上げます。頂戴した御寄付は、子ども達のグループホームや相談事業の充実に活用していきたい。今後も地域と連携し、子ども達のための環境整備に努めたい。」とのご挨拶とともに飯坂へ感謝状が贈られました。



### 児童養護施設つつじが丘学園での贈呈式

【写真左】川瀬園長に目録を手渡す飯坂

【写真右】つつじが丘学園から飯坂へ感謝状が贈呈されました

### (※) 寄付金額について

1万USドルの賞金は、2017年10月6日時点の円・ドル為替レートで日本円に換算し、団体に寄付しております。日本円での寄付金額は合計1,134,300円となりました。

## 参 考 資 料

さかぐち きよふみ

### \*1「坂口 陽史ゴールデン・ハート・メモリアル・アワード」について

賞名に冠されている坂口陽史(きよふみ)(故人)は、日本を含める 10 カ国で事業展開するプルデンシャル・ファイナンシャルの国際保険事業部門の育ての親で、プルデンシャル生命保険株式会社の創業者です。

同賞は、世界最大級の金融サービス機関であるプルデンシャル・ファイナンシャルが掲げる生命保険に対する理念、そしてお客さまに対する一生にわたる献身的なサービスの提供といった使命を、社員に伝承していくために 2002 年に創設されました。プルデンシャル・ファイナンシャルの国際保険事業部門傘下の生命保険会社で、最も良き手本となった営業社員を各社ごとに毎年 1 名選定し、その栄誉を称えらるとともに、受賞者が希望する慈善団体に1万ドルを受賞者名で寄付します。

今回受賞した飯坂は、常にお客さまに焦点を合せた質の高いビジネスを追求している姿勢に加え、児童施設でのボランティア活動にも参加し、訪問先施設のイベントの手伝いや子どもたちへのプレゼントの配布など、日頃からのボランティアへの意識が非常に高く、地域社会への積極的で多様な貢献活動が評価され、ジブラルタ生命全国の営業社員約 9,000 名の代表として選ばれました。

### \*2 社会福祉法人つるみね福祉会 児童養護施設つつじが丘学園について

所在地：長野県岡谷市川岸上 4 丁目 12 番 51 号

ホームページ：<http://www.tsutsuji.or.jp/>

#### < 学園概要 >

児童福祉法による児童養護施設として昭和 26 年に創設、旧称を「塩嶺学園」といい、塩嶺峠のはるか高台に位置しましたが、施設の老朽にともない昭和 41 年に現在地に移転し、つつじで有名な鶴峯公園の上に位置する事にちなみ、「つつじが丘学園」と改名しました。

#### < 基本方針 >

「自立支援」を基本理念に置き、ここの児童に対し個別に適切な処遇・支援計画を立て、実施しています。

- 職員との信頼関係を基に、愛着心・自立心・責任感を養います。
- 支援に当たっては、児童の自主性及び意見を尊重します。
- 基本的な生活習慣の習得をはかり、社会性を養います。
- 児童が同然持つべき欲求に対し、最大限の充足をはかり、豊かな心を育てます。